

10 回を超える会合等、時間をかけて広範にご検討いただいたことありがとうございます。

多面的機能や農村振興を考慮し、条件不利な中山間地等と条件良好地域をわけて、今後の農業の方向性を議論していただいたことは大変良かったと思います。もし、可能であれば、両者の中間に位置する「若干」条件不利な地域の農業、たとえば、土壌や地形、地下水の条件によって排水不良になる地域では、農地の汎用化や水田の畑地化はなかなかうまく行きません、このような、中山間等条件不利と条件良好の間に位置する地域がこぼれ落ちないように、実装時に指針やマニュアル、KPI の設定等で工夫されるとありがたく思います。

また、有機農法の推進について、先行する EU や米国では大きな面積が有機農法の果樹、草地、飼料となっています。国産飼料確保の面でも食用作物だけでなく、草地・飼料作物についてもご配慮いただけると良いように感じました。